

2016年3月14日

報道関係各位

認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ
日本イーライリリー株式会社
EL16-10

「第12回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」 「当事者部門」「支援者部門」で、2名2団体を表彰

～当事者による社会に向けた積極的な発信や、見過ごされやすい問題への取り組みを表彰～

認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ(事務局:千葉県市川市、以下「コンボ」)は、2016年3月11日(金)、ベルサール八重洲(東京都)にて、「第12回精神障害者自立支援活動賞(通称:リリー賞)ーひとりひとりの輝くあしたへー」の表彰式を開催し、「当事者部門」と「支援者部門」の2部門あわせて2名2団体の受賞者に対し、盾と副賞を授与いたしました。

【受賞者、プレゼンターの山田ルイ53世(髭男爵)さん、選考委員、協賛社による記念撮影】



「第12回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」受賞者

＜当事者部門＞ 副賞 100万円

広島県 大江 祥博さん

統合失調症の体験を語り、精神障害者の就労支援や自費出版を通じてピアサポートの普及に貢献
自らの体験を社会に対して積極的に発信し、ピアサポートの普及に貢献している点が評価されました。

兵庫県 笠原 健(詩人artistけんぼー)さん

統合失調症等を乗り越え、作業療法士の経験を活かしピアサポーターとして働きながら、アートで
社会とつながる路上詩人
自らの体験を、表現活動やピアサポートなど様々な手段で発信している点が評価されました。

＜支援者部門＞ 副賞 50万円

埼玉県 NPO 法人 ぶるすあるは

精神疾患を抱えた親とその子どもを絵本や情報サイトの制作で応援

“古くて新しい問題”に注目し、求められている支援に対し、熱意をもって取り組んでいる点が評価されました。

大阪府 認定NPO 法人 大阪精神医療人権センター

患者の声に耳を傾ける、電話相談・面会・病院訪問などを30年にわたり実施

当事者の視点に立った活動を独自に切り開いてきたインパクトと、30年にわたる継続性が評価されました。

■リリー賞に関するお問合せ:

認定NPO法人地域精神保健福祉機構(コンボ)・リリー賞事務局
TEL:047-320-3870/FAX:047-320-3871

■受賞者へのご取材に関するお問合せ:

広報代理店 (株)トークス
TEL:03-3261-7715/FAX:03-3261-7174 担当:佐野、黒崎

第 12 回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞) 受賞者プロフィールおよび受賞理由

【当事者部門】大江 祥博(おおえ よしひろ)さん 44 歳〈広島県広島市〉

仕事のストレスなどからうつ症状となり、やがて統合失調症を発症。入院生活を経て、現在は広島市内の就労支援センターFLaT の正規職員として同じ精神障害者の支援(ピアサポート)に携わりながら、研修会や家族会での講演を重ねている。ピアに関するハンドブックを自費出版するなど、自らの体験を社会に対して積極的に発信し、ピアサポートの普及に貢献している点が高く評価された。



【当事者部門】笠原 健(詩人 artist けんぼー)さん 38 歳〈兵庫県神戸市〉

作業療法士として精神科病院に勤務し、2 年目に発症。服薬しながら 3 年間勤務を続けたが、その後 8 回もの入退院を繰り返す。初めての入院時に詩や絵の制作を始め、ウェブや個展で発表。2012 年、道行く人に詩を贈る路上詩人としての活動も開始し、2015 年には第 16 回スペイン・バルセロナ国際サロンに絵画を出品して日本芸術奨励賞を受賞した。一方、ピアサポーターとしても退院支援や講演を行うなど、自らの体験を表現活動やピアサポートなど様々な手段で発信している点が高く評価された。



【支援者部門】NPO 法人 ぶるすあるは 〈埼玉県さいたま市〉

精神科医と精神科看護師が、臨床場面で「家族が精神疾患になったとき子どもへの支援が手薄である」という問題に直面。「ないなら自分たちで作ろう」と、2012 年 4 月より絵本の制作など、精神疾患を抱えた親とその子どもを支援するコンテンツ制作を開始(NPO 法人の設立は 2015 年 6 月)。これまで日本国内でほとんど取り組まれてこなかった“古くて新しい問題”に注目し、求められている支援に対し、熱意をもって取り組んでいる点が高く評価された。



【支援者部門】認定 NPO 法人 大阪精神医療人権センター 〈大阪府大阪市〉

1985 年、当事者・家族・看護師・精神科ソーシャルワーカー・精神科医・弁護士が中心となって設立。精神科病院に入院中の患者さんを対象とした「電話相談」「面会」および精神科病院への「訪問活動」を主な柱として、当事者の権利擁護と、安心してかかれる精神医療の実現を目指して活動している。ニュースレターやメルマガ、HP を通じて積極的に情報公開を行い、寄付やボランティアなど広く市民から協力を得ている。当事者の視点に立った支援活動を独自に切り開いてきたインパクトと、30 年にわたる継続性が高く評価された。



<「第12回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」応募・選考 について>

「リリー賞」は、精神障害者の社会参加や地域社会での自立を促す活動を行っている当事者・当事者団体を表彰する賞として、2004年に設立されました。第9回より「当事者部門」に加えて「支援者部門」を設立し、医療、福祉だけでなく、地域コミュニティ、教育など、さまざまな分野・立場で、精神障害者の社会参加・自立を支援する個人やグループ・団体を対象としています。

- 主催 認定NPO法人 地域精神保健福祉機構(コンボ)
- 協賛 日本イーライリリー株式会社
- 募集期間 2015年9月1日～12月31日
- 応募件数 当事者部門 35件 / 支援者部門 24件
- 選考 「当事者部門」については①当事者を主体とした取り組みであること、②独自性、③社会・医療・保健福祉へのインパクト、「支援者部門」については①独自性、②社会・医療・保健福祉へのインパクト、③将来性の3点をそれぞれ主な選考基準として、以下8名の選考委員により2016年1月30日(土)に行われました。

【選考委員】(敬称略)

高橋清久	(公益財団法人精神・神経科学振興財団理事長)
佐藤光源	(東北大学名誉教授/こだまホスピタル特別顧問)
中村純	(産業医科大学名誉教授/特定医療法人北九州病院北九州古賀病院院長)
寺谷隆子	(社会福祉法人JHC板橋会理事長/山梨県立大学人間福祉学部特任教授)
藤野英明	(コンボ理事/横須賀市議会議員)
大島巖	(コンボ代表理事/日本社会事業大学学長)
伊藤順一郎	(コンボ共同代表/メンタルヘルス診療所しっぽあーれ)
宇田川健	(コンボ共同代表)

「コンボ」では、困難な状況を乗り越え活動している当事者・当事者団体、支援者・支援者団体を表彰する本賞を通じて、より多くの方々が統合失調症をはじめとする精神疾患に対する正しい理解を深め、そして、当事者にとってより良い環境整備及び充実の一助となるよう活動してまいります。

協賛の日本イーライリリー株式会社は、革新的な医薬品の開発・提供に加え、患者さん・ご家族への情報提供や支援、精神疾患の一般への理解促進などを通じ、患者さんのリカバリーへの貢献をめざします。

認定NPO法人 地域精神保健福祉機構・コンボ(Community Mental Health & Welfare Bonding Organization)について

「精神障害をもつ人たちが主体的に生きて行くことができる社会の仕組みづくり」を目的とし、平成19年2月に設立したNPO法人です。「当事者の視点」を活動の重点に据え、当事者、家族および専門職を対象とした情報提供や、ACT・家族心理教育・就労支援など科学的根拠にもとづくプログラムの実践および普及活動、そして、地域精神保健福祉の発展に資する活動などを主に行っています。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、双極性障害、注意欠如・多動症(AD/HD)、がん(非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん、悪性リンパ腫、胃がん)、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症などの治療薬を提供しています。また、アルツハイマー型認知症、関節リウマチ、乾癬などの診断薬・治療薬の開発を行っています。詳細はウェブサイトをご覧ください。<http://www.lilly.co.jp>